

1 次の行列式を求めなさい.

$$(1) \begin{vmatrix} 5 & 1 & -3 \\ 6 & -1 & 3 \\ 8 & 4 & 7 \end{vmatrix}$$

$$= \begin{vmatrix} 5 & 1 & -3 \\ 11 & 0 & 0 \\ 8 & 4 & 7 \end{vmatrix} = -11 \cdot \begin{vmatrix} 1 & -3 \\ 4 & 7 \end{vmatrix}$$

$$= -11 \times (7 - (-12)) = -11 \times 19 = -209 \quad \text{【1点】}$$

$$(2) \begin{vmatrix} 7 & 4 & 8 \\ 3 & -1 & -5 \\ -3 & 1 & 5 \end{vmatrix}$$

$$= - \begin{vmatrix} 7 & 4 & 8 \\ 3 & -1 & -5 \\ 3 & -1 & -5 \end{vmatrix} = 0 \quad \text{【1点】}$$

$$(3) \begin{vmatrix} 4 & 3 & 1 & -1 \\ 6 & 2 & -1 & 1 \\ 3 & 2 & 0 & 2 \\ 12 & 1 & 2 & 1 \end{vmatrix}$$

$$= \begin{vmatrix} 4 & 3 & 1 & -1 \\ 10 & 5 & 0 & 0 \\ 3 & 2 & 0 & 2 \\ 4 & -5 & 0 & 3 \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} 10 & 5 & 0 \\ 3 & 2 & 2 \\ 4 & -5 & 3 \end{vmatrix}$$

$$= 5 \begin{vmatrix} 2 & 1 & 0 \\ 3 & 2 & 2 \\ 4 & -5 & 3 \end{vmatrix} = 5 \begin{vmatrix} 2 & 1 & 0 \\ -1 & 0 & 2 \\ 14 & 0 & 3 \end{vmatrix}$$

$$= -5 \begin{vmatrix} -1 & 2 \\ 14 & 3 \end{vmatrix} = -5 \times (-3 - 28)$$

$$= -5 \times (-31) = 155 \quad \text{【1点】}$$

2 余因子行列の定義を述べなさい.

n 次正方行列 A に対し, 第 i 行と第 j 列を取り除いた $(n-1)$ 次正方行列の行列式に $(-1)^{i+j}$ を乗じたものを A の余因子といい, A_{ij} で表す. (i, j) 成分が A_{ji} である行列のことを, A の余因子行列という. 【1点】

3 平面上の点 P の座標を $(3, 2)$ とする. このとき, 次の問に答えなさい.

(1) 行列 $\begin{pmatrix} 2 & -1 \\ -4 & 2 \end{pmatrix}$ が表す 1 次変換による点 P の像を求めなさい.

$$\begin{pmatrix} 2 & -1 \\ -4 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 4 \\ -8 \end{pmatrix}$$

よって, 点 P の像は $(4, -8)$ である. 【1点】

(2) 行列 $\begin{pmatrix} 2 & -3 \\ 2 & 1 \end{pmatrix}$ が表す 1 次変換による点 Q の像が P であるとする. このとき, 点 Q の座標を求めなさい.

点 Q の座標を (x, y) とおくと,

$$\begin{pmatrix} 2 & -3 \\ 2 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \end{pmatrix}$$

である. つまり,

$$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 & -3 \\ 2 & 1 \end{pmatrix}^{-1} \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \end{pmatrix} \\ = \frac{1}{2 - (-6)} \begin{pmatrix} 1 & 3 \\ -2 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \end{pmatrix} = \frac{1}{8} \begin{pmatrix} 9 \\ -2 \end{pmatrix}.$$

よって, $(x, y) = \left(\frac{9}{8}, -\frac{1}{4}\right)$. 【1点】

- 4 1次変換 f によって、点 $(-2, -1)$ は点 $(2, 3)$ に移り、点 $(5, 8)$ は点 $(1, 4)$ に移るとする。このとき、 f を表す行列を求めなさい。

求めるものは

$$A \begin{pmatrix} -2 \\ -1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix}, \quad A \begin{pmatrix} 5 \\ 8 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 4 \end{pmatrix}$$

を満たす行列 A である【1点】。上の2つの式は

$$A \begin{pmatrix} -2 & 5 \\ -1 & 8 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}$$

と同値である。よって、

$$\begin{aligned} A &= \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 3 & 4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} -2 & 5 \\ -1 & 8 \end{pmatrix}^{-1} \\ &= -\frac{1}{11} \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 3 & 4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 8 & -5 \\ 1 & -2 \end{pmatrix} \\ &= -\frac{1}{11} \begin{pmatrix} 17 & -12 \\ 28 & -23 \end{pmatrix} \quad \text{【1点】} \end{aligned}$$

- 5 平面内の直線 $y = x - 2$ を l とする。次の各行列が表す1次変換によって、 l がどのような図形に移るか答えなさい。

$$(1) A = \begin{pmatrix} 2 & -3 \\ 2 & 1 \end{pmatrix}$$

直線 $y = x - 2$ 上の点は $(t, t - 2)$ と表される【1点】。よって、この点を行列 A が表す1次変換で変換すると、

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 & -3 \\ 2 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} t \\ t-2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -t+6 \\ 3t-2 \end{pmatrix},$$

つまり、 $x' = -t + 6, y' = 3t - 2$ である。【1点】

この2式から t を消去すると、 $3x' + y' = 16$ を得る。つまり、直線 $y = x - 2$ はこの1次変換によって、直線 $y = -3x + 16$ に移る【1点】。

$$(2) B = \begin{pmatrix} 1 & -1 \\ -1 & 1 \end{pmatrix}$$

(1) と同様に考えると

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & -1 \\ -1 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} t \\ t-2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 \\ -2 \end{pmatrix}.$$

となる【1点】。よって、直線は1点 $(2, -2)$ に移る【1点】。

- 6 次の3つの条件をすべて満たす2次正方行列 A を求めなさい。ただし、 f は行列 A が表す1次変換とする。

(i) 点 $(1, 2)$ の f による像は $(5, 0)$ である。

(ii) 行列式 $|A|$ の値は -5 である。

(iii) 直線 $y = x$ は f で不変である ($y = x$ 上の点を変換しても、また $y = x$ 上の点に移る)。

$$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \text{ とおくと、条件 (i) より、}$$

$$\begin{pmatrix} 5 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a+2b \\ c+2d \end{pmatrix}.$$

$$\text{よって、} A = \begin{pmatrix} 5-2b & b \\ -2d & d \end{pmatrix} \text{ と書ける。【1点】}$$

条件 (ii) より、

$$-5 = |A| = d(5-2b) - b \times (-2d) = 5d$$

$$\text{よって、} d = -1 \text{ となり、} A = \begin{pmatrix} 5-2b & b \\ 2 & -1 \end{pmatrix} \text{ と書ける。}$$

【1点】

条件 (iii) より、直線 $y = x$ 上の点 (t, t) を f で変換した点

$$\begin{pmatrix} 5-2b & b \\ 2 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} t \\ t \end{pmatrix} = t \begin{pmatrix} 5-b \\ 1 \end{pmatrix}$$

も、直線 $y = x$ 上の点なので、 $5 - b = 1$ となる。よって、 $b = 4$ を得る。【1点】

以上のことから、

$$A = \begin{pmatrix} -3 & 4 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$$

となるのがわかる。

学籍番号	1						学科	
氏名								